

「子育て・教育環境の充実に向けた研究会」

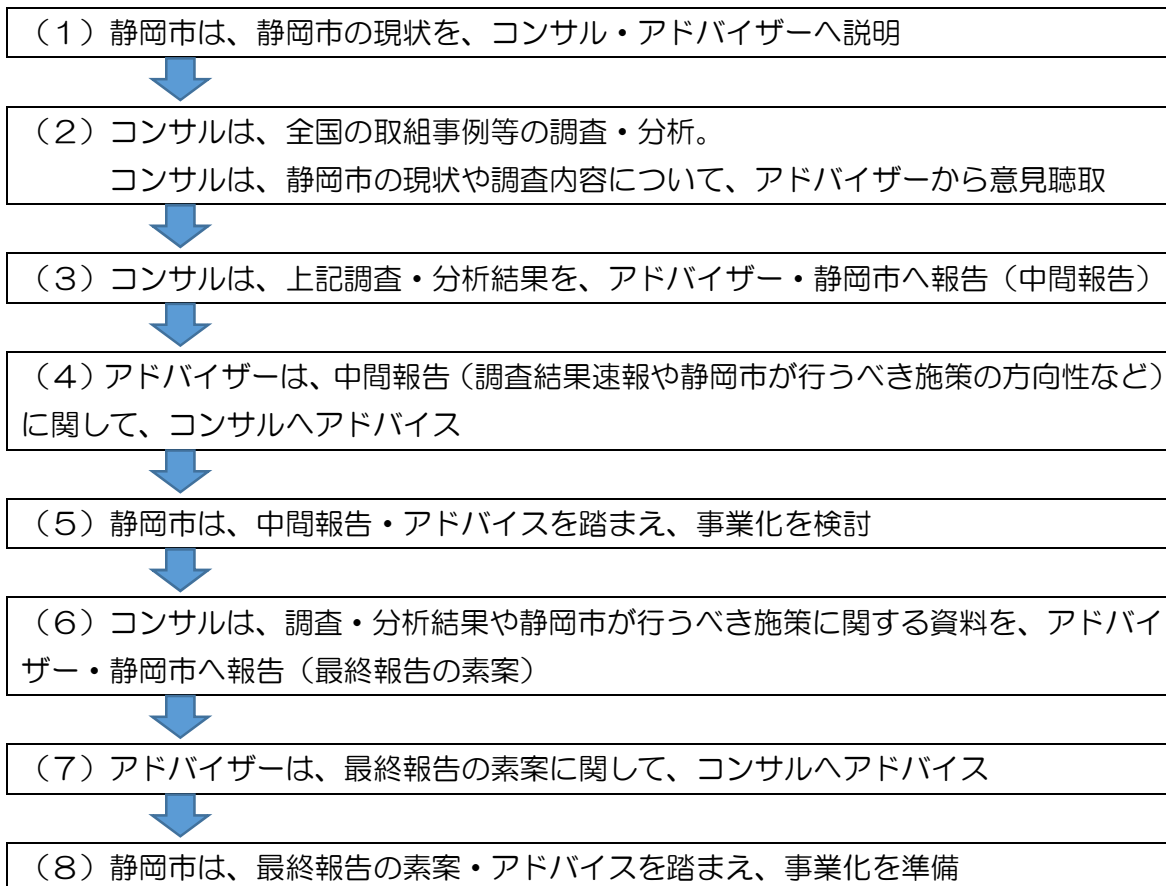
1 目的

静岡市を子育てしやすいまちにするために、社会経済の動向や最新の子育て・教育政策に精通した有識者からの意見を求めるとともに、先進都市の事例を収集して比較検討することで、子育て・教育に係る政策・施策を分析・評価し、本市に必要な子育て・教育支援策について立案、実施していく。

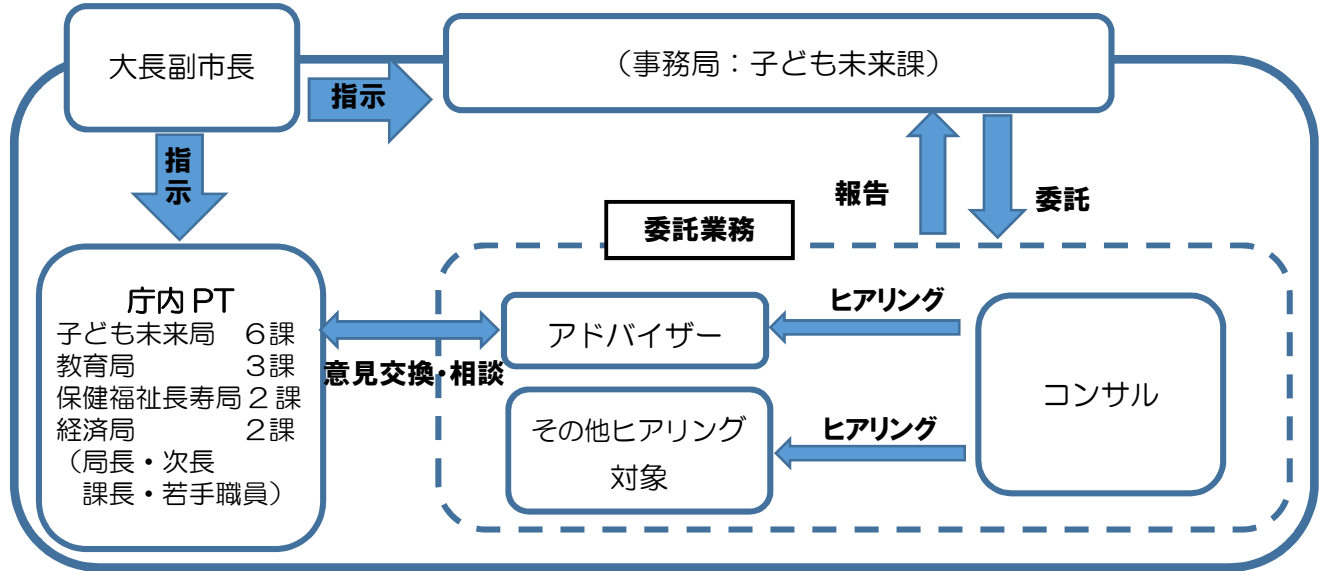
2 役割分担

- (1) コンサル : 全国の取組事例等の調査・分析業務（アドバイザー・関係者へのヒアリング含む）を元に、本市に必要な子育て・教育支援策に係る資料提出
- (2) アドバイザー : コンサル・市職員からのヒアリング対応として、調査・分析の方法・内容及び必要となる施策等に対し、知見に基づきアドバイス
- (3) 庁内 PT : 上記調査・アドバイスを元に、本市に必要な施策の事業化に向けた事業の組み立てと予算要求等を行う。

3 進め方



4 研究会体制イメージ図



5 調査・分析業務(コンサル)

(1) 主な委託業務の内容

- ・アドバイザーへのヒアリング
- ・関係者（子育て・教育関係の機関・団体、静岡市各担当課）へのヒアリング
- ・全国の自治体の事例等調査
- ・静岡市の政策・施策の再構築（点検、効果見込み等）
- ・静岡市が実施すべき事業の分析

(2) 委託先

国において、子育て関係調査業務の受託実績のある事業者

6 今後スケジュール

時期	業務
6月19日 18:30～	第1回会議開催 ※アドバイザーはオンライン参加、 ※PTは大長副市長・局長・局次長が参加 概要・スケジュール説明、進め方等について意見聴取 ※参加できなかったアドバイザーには、後日説明
6月30日（予定）	調査・分析業務 委託業者決定
7月～9月中・下旬	（アドバイザー）随時、コンサルによるヒアリング実施 （調査業務）中間報告 （アドバイザー）随時、コンサルによるヒアリング実施 （必要に応じPT職員も同席） （PT）アドバイザーとの意見交換、事業検討 （調査業務）最終報告
9月下旬～10月上旬	（調査業務）報告書作成
10月上旬	第2回会議開催 情報共有、意見交換
10月下旬	（各課）令和6年度予算要求

子育て・教育環境の充実に向けた研究会

アドバイザー名簿

氏名	所属	専門分野
高尾 真紀子	法政大学大学院政策創造研究科教授	福祉、地域政策
田宮 縁	静岡大学教育学部教授	教育学
石原 剛志	静岡大学学術院教育学領域特別支援・幼児教育系列教授	児童福祉
冬木 春子	静岡大学教育学部教授	子ども・家族支援
犬塚 協太	静岡県立大学国際関係学部教授	家族社会学
野村 武司	東京経済大学現代法学部教授	社会科学・教育

※必要に応じて追加する。